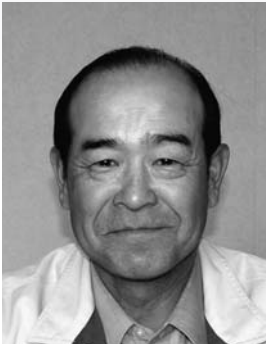


～環境と調和する～

真の豊かな暮らしへの第一歩

特集



林業

尾野 輝生さん（北檜山区）

農地への転用や過剰伐採、乱開発、酸性雨などの影響により森林が年々減少しています。それに加えて近年の山菜採り人口の増加もあり、熊などの野生動物が餌を求めて人里に下りてくることから、事故や農作物への被害も年々増加傾向にあります。更に、人間が動物の生息域を荒らすだけでなく、ゴミのポイ捨てや牧草地などへの車両の乗り入れなどマナー違反も目立っています。

森林は、二酸化炭素を吸収して酸素を生み出すほか、水の保水機能など人間が生きるためには、なくてはならない重要な働きをしています。山に入るには一人ひとりが山の有難さを理解し、山を守る意識を持って欲しいと思います。また、日常生活の中で無意識に大量消費している水、割り箸、紙などについても、それらの源は森林であるということに意識を向けて感謝の気持ち、ありがたさの意識を持って欲しいと思います。これからも、植樹活動などを通じて環境を守る取り組みを続けていきたいと思っています。

去年の夏は「本当に暑かった！」と多くの皆さんが、感じたのではないのでしょうか。

二酸化炭素の増加によって起こる地球温暖化の影響が世界的に表面化してきています。

この特集では、環境と調和する真の豊かな暮らしへの第一歩として、環境問題を地球規模ではなく、もっと身近な視点でご紹介してみたいと思います。

7月7日から始まる、北海道洞爺湖サミットをきっかけに、一緒に地球環境のことを考え、今私たちにできることから少しずつはじめてみませんか？

身近な環境を守る取り組み

緑の少年団による「緑の募金」街頭運動

玉川小学校緑の少年団、馬場川小学校緑の少年団、久遠小学校緑の少年団により毎年行われています。

緑の少年団とは、緑を愛し、緑を守り、育てる心を養うことを目的に活動する青少年たちの団体です。



NPO法人後志利別川清流保護の会

初めて清流日本一に輝いたことをきっかけに昭和63年に、流域地域住民が「清流保護の会」を発足。以来20年にわたり河川清掃をはじめとする川と親しみ、川を慈しむ地道な河川愛護活動を続けています。



一平会

町内の釣り愛好者でつくる「一平会」（伊瀬智会長）は、昭和55年に発足し、釣り場環境保全と水産生物の保護や魚道清掃に取り組んでいます。これまで知事感謝状などのほか、環境大臣から地域環境美化功績者表彰も受賞しています。



お魚を増やす植樹祭

ひやま漁協瀬棚支所及び大成支所の女性部により毎年行われています。

山、森林は川を流れて海に栄養分を配給する密接な関係があることから、良好な漁場を維持し将来へ残すことを目的としています。この運動は、全道各地で実施されています。



身近な環境問題



漁業

大野 光弘さん (大成区)

磯焼けの原因として考えられるのが、家庭用洗剤が海へ流出することによる汚染。また、森林で醸成された栄養分は河川を通じて海へ流れ、豊かな漁業環境を形成していますが、近年ダム等の建設や人命を守るために作られた護岸からのセメントの流出なども多少の影響があるとされています。

自分が小さな頃は、どの家でもイカやホッケは浜辺で調理され、そのゴロ（内臓）は海へ還されてその付近では魚が多く見られたように思います。他町村では現在そのイカゴロを海中に投入する試験が行われており、魚をおびき寄せる蛸集効果や、イカゴロの投入地点付近にはホンダワラなどの海藻密度も高いことが確認されています。今後我が町で、少しでも海にプラスになるように海藻類の繁茂を期待してやってみようという話もあるそうです。

漁獲については、水温の変化に伴う漁獲期の変動が見られるほか、どの魚においても、年々減少している傾向が見られます。その分、高度な機械設備や技術で補っている中、燃料の高騰により電力や機器を調整すると水揚げに響くなど悪循環となっています。

漁獲については、水温の変化に伴う漁獲期の変動が見られるほか、どの魚においても、年々減少している傾向が見られます。その分、高度な機械設備や技術で補っている中、燃料の高騰により電力や機器を調整すると水揚げに響くなど悪循環となっています。



農業

武山 正悦さん (瀬棚区)

昔に比べて、技術の向上と品種改良及び地球温暖化の影響もあるのか、本州でしかとれなかった良質な作物が効率よく大量に作れるようになってきています。一方、機械化に伴う経費など輸入に頼る面については、価格の高騰によって大きなダメージを受けています。昔は、自給でまかなっていた家畜の餌も、安価な輸入品に変わりました。しかし、安心・安全、燃油の高騰、輸入飼料の価格高騰などから、家畜の餌については、昔に戻ってえんばく、デントコーンなど自給による先を見越した取り組みをすべきではないかと考えています。また、農家が率先して自給に努めなければならぬのではないかと感じています。

瀬棚では環境にやさしい有機農業を平成13年に本格的にアイガモ農法でスタートさせました。また、オオバの有機農法は全国初で、消費者や実需者において高く評価されています。有機農法は、手間ひまと経費もかかりますが、安全・安心で地球にやさしい確かな農産物をこれからも作り続けたいと思います。



● 洋上風車「風海鳥」
安定した風力を確保できるほか、騒音問題もなく、環境にもやさしい日本発の洋上風力発電です。



● 町でも取り組んでいます
● サケの上る森づくり植樹祭
豊かな森林づくりは豊かな海づくりに繋がるとの観点から、旧北檜山町が平成7年から実施している植樹運動です。
● 地域の水産業を支える魚種であるサケやマスが多く町内に遡上するようにとの思いがこもった活動です。

ガイアナイト

2008.7.7 [MON] 20:00-22:00

北海道洞爺湖サミット開催初日の七夕の夜、
でんきを消してローソクの光で過しませんか？

北海道洞爺湖サミット道民会議 ☎ 011-204-5096

- ノーネクタイ運動
毎年、夏期間中（6月～9月）暑さをしのぎやすいビジネススタイルで執務を行っています。
- 消灯
執務時間中の正午から午後1時まで、本庁・両支所全庁舎の窓口以外の照明を消灯しています。
- 裏紙使用
裏紙利用による紙資源の節約を行っています。
- 節水
給湯室の水道に節水を呼びかけるシールを貼っています。